

令和4年度 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

～これまでと これから繋ぐ 十七字～

会津域内入賞作品

県入賞作品

ふるさと部門 最優秀賞

喋らねば 凍えてしまふ 激震地

磐梯町立磐梯中学校 三年 伊藤 光輝

二〇一一年三月十一日に起きた東日本大震災。当時、犠牲となつた多くの人々が報われるためにも、震災のことを話し、継承していくことが必要だと思ひ作りました。

語り継ぐ あの時君は 三歳児

母 伊藤 万里亜

今では立派に成長した我が子も、大震災を体験したのは物心が付く前のことです。私たちのふるさとである福島県で起きた出来事を風化させてはいけなさと改めて感じ、歴史を伝える大切さを忘れずにいたいと思ひました。

ふるさと部門 佳作

三年の 思いを込めて にぎるぼろ

喜多方市立第二小学校 六年 穴澤 悠雅

三年ぶりに太鼓台の共演ができて嬉しくて作りしました。

夏の夜に 響きまじりし 太鼓台

父 穴澤 正彦

コロナ禍で中止となつていた夏祭りが三年ぶりに開催されたことをきっかけに作りしました。

絆部門 佳作

夢の舞台 友に声援 松葉杖

会津美里町立高田中学校 二年 大橋 晴

大会に出られず悔しさがあつながらも、友達に声援を送つていた日のことを思い出し作りました。

悔しさに 離れて寄り添う 競技場

母 大橋 芙美

怪我をしてからも回復に向けて頑張る娘に、これからどんな時でも寄り添って見守つていきたいと思ひ作りました。

令和4年度の会津域内の応募作品数は「絆部門」3,987組、「ふるさと部門」1,540組、「合計」5,527組でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

この令和4年度『ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業』の入賞作品や表彰式の様子は県教育委員会や会津教育事務所のHPでも御覧いただけます。



編集：会津教育事務所

会津教育事務所入賞作品

絆部門 奨励賞

こころがてばあばになつたらママはなに？
本郷こども園 年中 根本 心美
願うのは娘の幸せ 子に伝え
母 根本 真奈美

きょうもいくむしとりめいじんじまんの父
慶徳小 一年 大八木 和也
娘のため今日もこっそりしたしらべ
父 大八木 和也

ほし、はなび みあげるせには おとうさん
三島小 一年 山浦 智大
膝に乗せ 共にみた空 宝もの
父 山浦 智大

石けんできがぬせなか ははの手で
城北小 二年 塚本 結月
親の背を 洗う我が娘の たのもし
母 塚本 明子

車イス じいじのせたら おもたいな
日新小 二年 岩沢 瑛世
ありがとう ひ孫の姿の たくまし
曾祖父 岩沢 行男

ひやしがり 会えないぶんは でんわでね
日新小 二年 松澤 ののか
コロナでも ビデオ通話で 近づける
姉 松澤 こころ

土の中 大きなじゃがいも いっぱいだ
塩川小 二年 佐藤 航亮
芋掘りの 畑に響く 孫の声
祖母 常法寺 美智子

耳遠く 祖母の姿に かた落とす
一箕中 一年 松林 愛依
孫の声 聞こえたりして 返事する
祖母 松林 千代子

高原の 夏のそよ風 かすみ草
昭和中 二年 工 明瑛
心込め 産地の誇り 育てたい
母 工 彩

読書家の 母に本貸す 十四の夏
河東学園後期課程 八年 佐竹 奈花
子の読みし 世界をついに 知る夏の日
母 佐竹 沙千

ふるさと部門 奨励賞

ほたるいたクリスマスツリー みたいだね
新鶴こども園 年中 平山 千夏
夏の夜に 残していきたい 光かな
母 平山 直美

ばあちゃん家 知らない道を たんけんだ
小金井小 三年 小林 煌
帰省して 変わらぬ道を 子と歩く
父 小林 和真

赤へこに 願いをこめて 絵付けする
一箕中 三年 浦井 優衣
晩酌の グラスに映る 赤い牛
母 浦井 真衣

団体賞

- 会津若松市立鶴城小学校
- 会津若松市立城北小学校
- 会津若松市立謹教小学校
- 会津若松市立神指小学校
- 喜多方市立駒形小学校
- 北塩原村立裏磐梯小学校
- 会津若松市立第一中学校
- 喜多方市立第二中学校
- 三島町立三島中学校
- 認定こども園若松第一幼稚園

団体奨励賞

- 会津若松市立行仁小学校
- 猪苗代町立緑小学校
- 喜多方市立堂島小学校
- 金山町立横田小学校
- 昭和三和立昭和小学校
- 西会津町立西会津中学校